

1) 部位別・男女別のがん登録件数(2011～2020年診断症例)

— 院内がん登録(2011～2020年診断症例) 部位別・男女別のがん登録件数から見る、当院の傾向 —

男性は全体で①大腸 ②胃 ③前立腺 ④肺 ⑤膀胱の順で登録件数が多く見られました。
 女性は全体で①乳房 ②大腸 ③子宮 ④胃 ⑤内分泌・甲状腺の順で登録件数多く見られました。

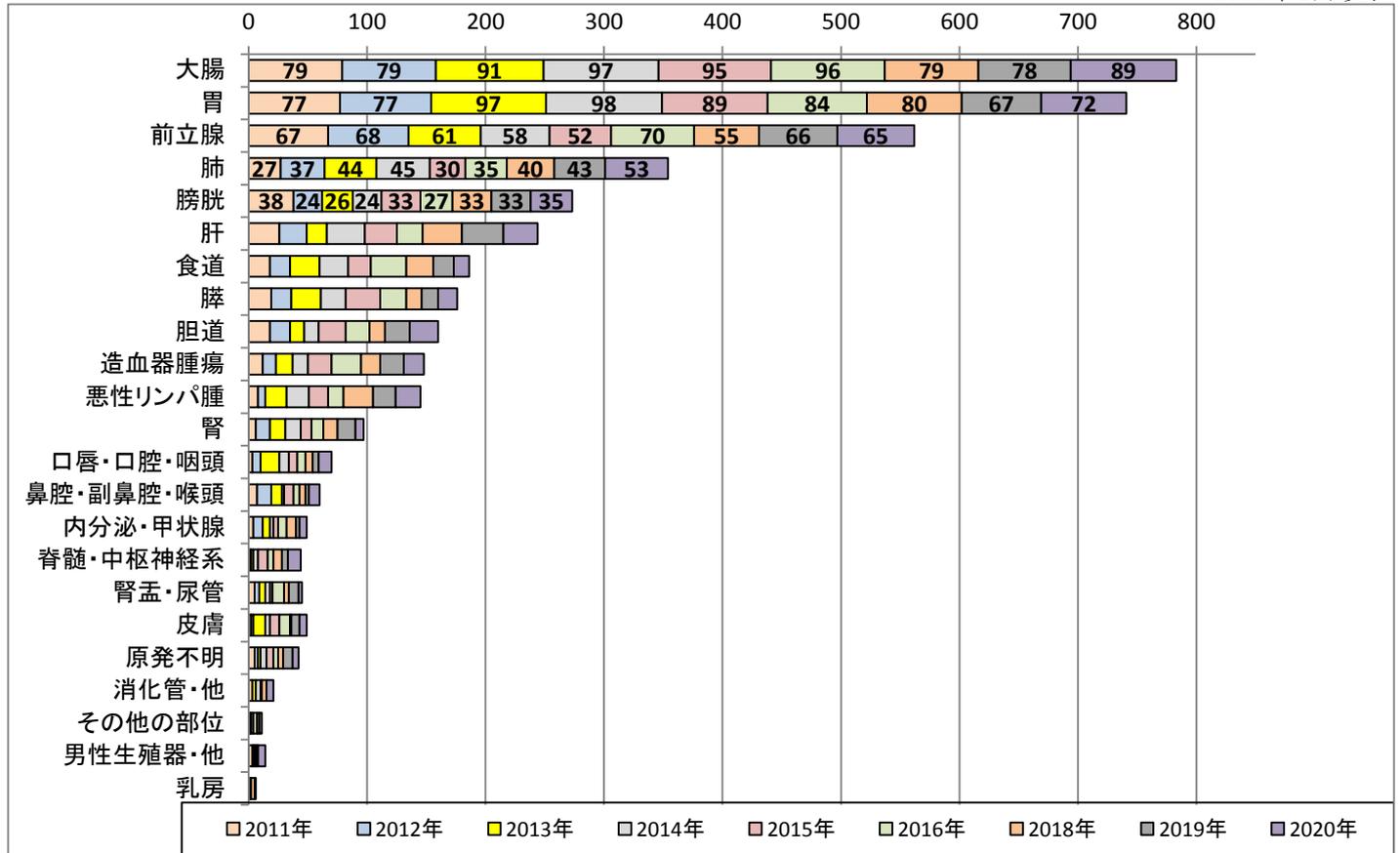
2022年1月現在

腫瘍部位	男 性											女 性										
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	合 計	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	合 計
胃	77	77	97	98	89	84	86	80	67	72	827	34	36	41	40	33	39	45	34	40	33	375
大腸	79	79	91	97	95	96	108	79	78	89	891	43	55	60	46	61	64	51	48	65	52	545
肝	26	23	17	32	27	22	36	33	35	29	280	-	11	-	12	12	-	-	12	12	11	105
肺	27	37	44	45	30	35	38	40	43	53	392	-	15	19	18	26	17	20	26	33	22	206
乳房	-	0	0	-	0	0	0	-	-	0	6	58	95	112	76	95	130	117	115	96	114	1,008
口唇・口腔・咽頭	-	-	16	-	-	-	-	-	-	11	76	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33
鼻腔・副鼻腔・喉頭	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	63	-	0	-	-	0	0	0	-	-	0	7
食道	18	17	25	24	19	30	24	23	17	13	210	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
消化管・他	-	0	-	-	0	-	-	-	0	-	25	0	-	-	-	0	0	-	-	-	-	12
胆道	18	17	12	12	23	20	-	13	21	24	167	15	12	16	11	-	14	-	12	11	17	123
膵	19	17	25	21	29	22	18	13	14	16	194	17	-	21	22	23	16	18	23	20	23	191
腎	-	12	13	13	-	-	16	12	15	-	113	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43
腎盂・尿管	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
膀胱	38	24	26	24	33	27	28	33	33	35	301	-	-	-	11	12	13	-	-	-	11	91
前立腺	67	68	61	58	52	70	63	55	66	65	625											
男性生殖器・他	-	-	-	0	-	0	-	-	-	-	16											
子宮												38	46	38	44	39	28	43	47	47	38	408
卵巣												-	-	-	-	-	12	-	-	-	12	84
女性生殖器・他												-	0	-	-	-	-	0	-	-	0	15
皮膚	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34
内分泌・甲状腺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57	25	15	31	27	28	29	27	24	-	15	227
脊髄・中枢神経系	-	-	-	-	-	-	15	-	-	11	59	-	-	-	-	-	-	24	13	11	15	84
造血器腫瘍	12	11	14	13	20	25	12	16	20	17	160	-	-	16	-	11	12	-	12	14	15	107
悪性リンパ腫	-	-	18	19	16	13	13	25	19	21	158	-	14	16	15	21	-	11	-	17	17	136
その他の部位	-	0	0	-	-	-	-	-	-	0	14	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	21
原発不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
登録件数合計	430	426	497	492	488	505	511	467	471	504	4,791	296	354	417	371	412	426	418	416	422	428	3,960

※集計値が0を除く10未満の場合、値を(-)ハイフンで表示しています

【男性:2011~2020年の登録件数(4,791件)】

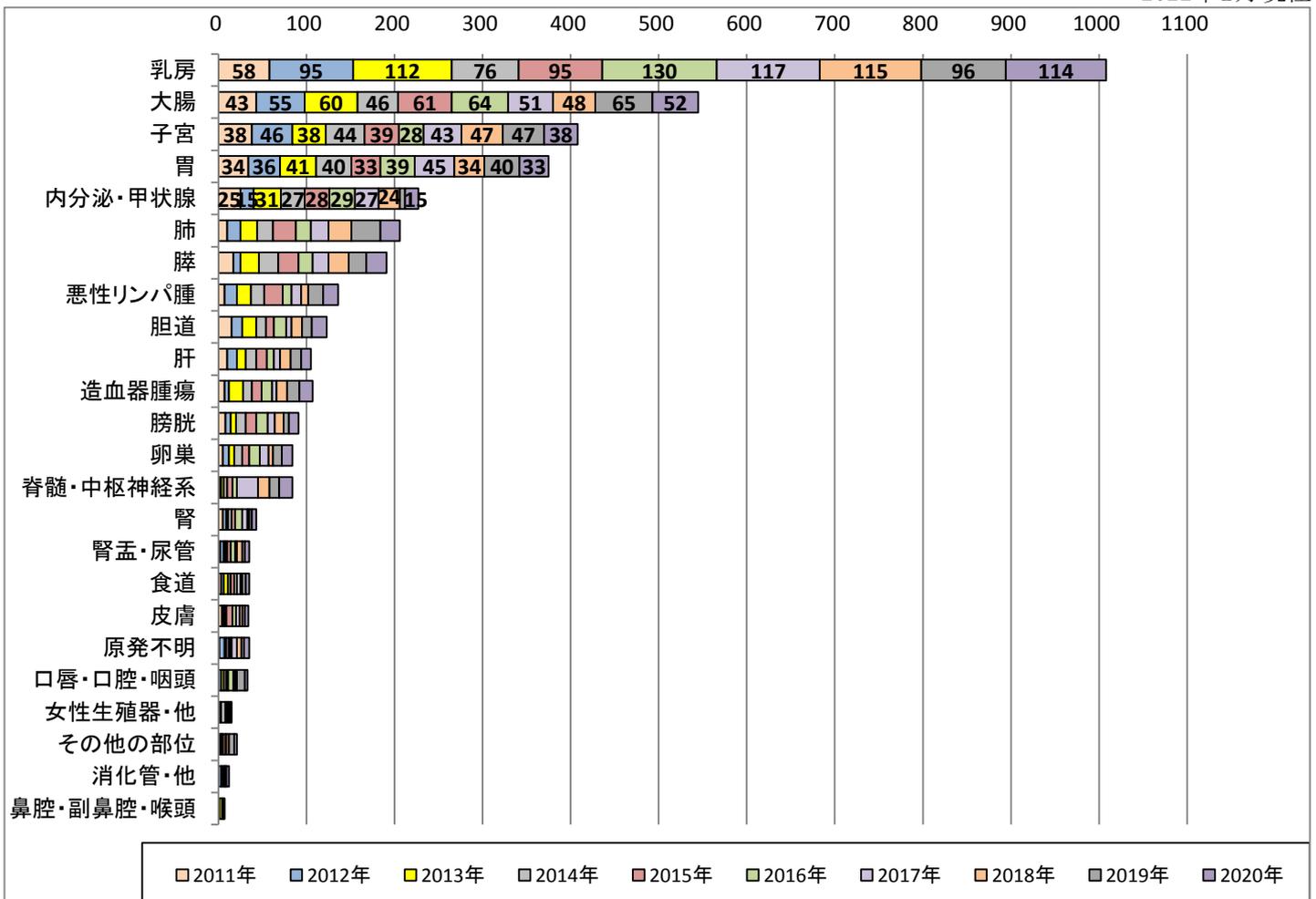
2022年1月現在



※集計値上位5位までの数値を表示しています。その他の集計値は「部位別・男女別のがん登録件数表」を参照ください

【女性:2011~2020年の登録件数(3,960件)】

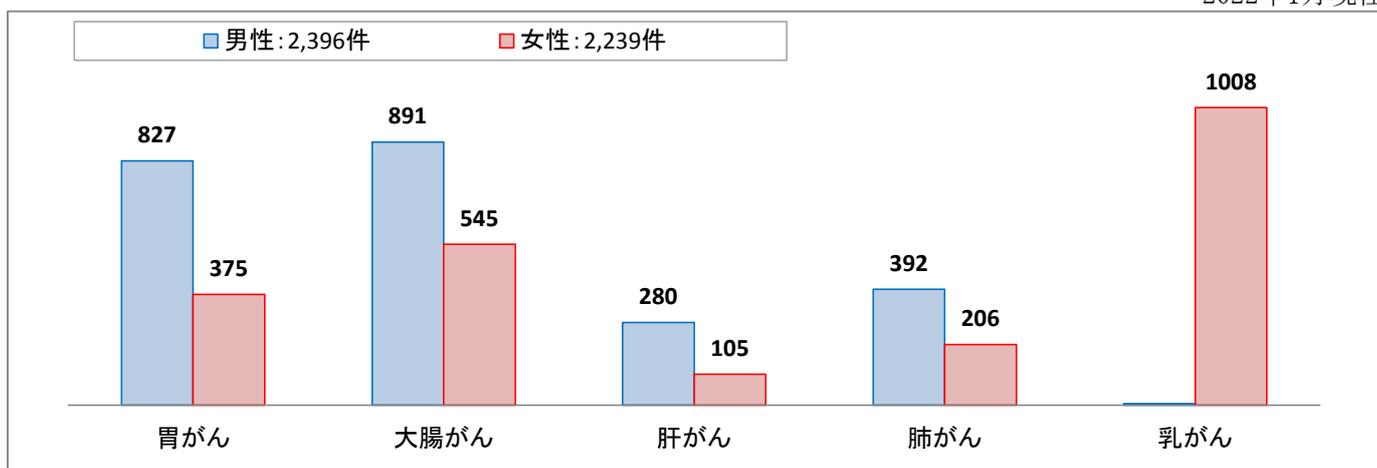
2022年1月現在



※集計値上位5位までの数値を表示しています。その他の集計値は「部位別・男女別のがん登録件数表」を参照ください

【5大がん:2011～2020年の登録件数(4,635件)】

2022年1月現在



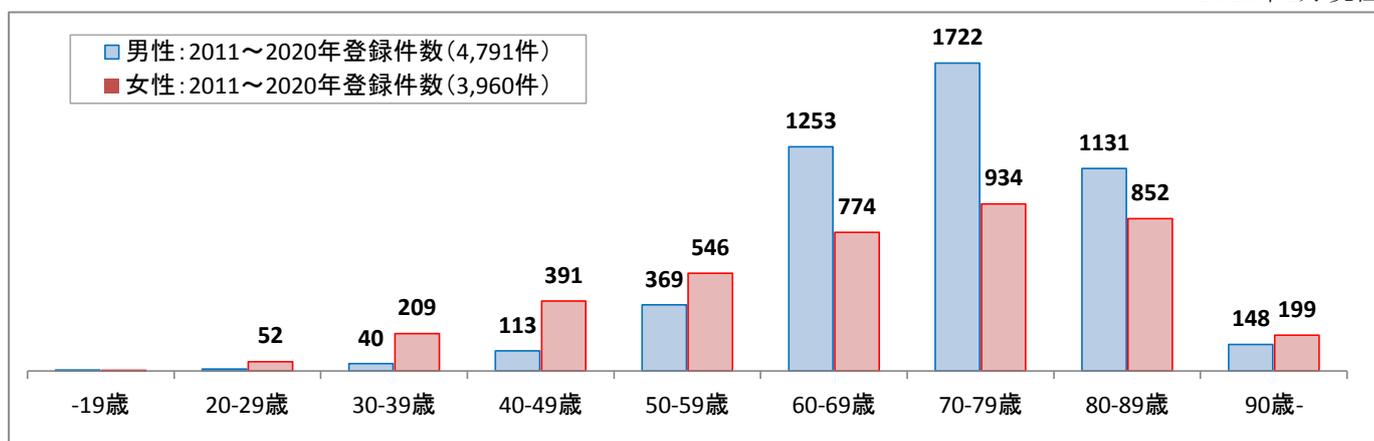
※集計値が0を除く10未満の場合、値を伏せています

2) 年齢階級別・男女別のがん登録件数(2011～2020年診断症例)

— 院内がん登録(2011～2020年診断症例)年齢階級別・男女別のがん登録件数から見る、当院の傾向 —

男性、女性ともに70～79歳の年齢階級で登録件数が最も多く、60歳以上が全体の70%以上を占めています。

2022年1月現在



※集計値が0を除く10未満の場合、値を伏せています

2022年1月現在

年齢階級	男性									女性								
	-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80-89歳	90歳-	-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80-89歳	90歳-
2011年	0	0	-	-	28	121	178	86	11	0	-	16	29	48	57	66	63	-
2012年	0	-	-	13	37	123	161	77	-	0	-	24	37	42	72	94	67	13
2013年	0	-	-	11	51	124	173	118	14	0	-	27	41	68	105	70	84	16
2014年	0	0	-	11	37	141	179	112	-	-	-	24	21	50	71	96	82	18
2015年	-	0	-	17	27	135	155	135	13	0	-	14	38	59	92	96	82	25
2016年	0	0	-	-	46	130	191	110	17	0	-	26	56	65	78	92	94	12
2017年	-	-	-	15	44	120	185	118	22	0	-	20	42	63	87	99	79	21
2018年	-	-	-	13	34	134	157	111	13	-	-	18	45	44	78	104	89	30
2019年	-	-	-	-	30	111	162	131	22	-	-	18	33	57	71	106	104	29
2020年	0	-	-	14	35	114	181	133	21	0	0	22	49	50	63	111	108	25
合計	5	10	40	113	369	1,253	1,722	1,131	148	3	52	209	391	546	774	934	852	199

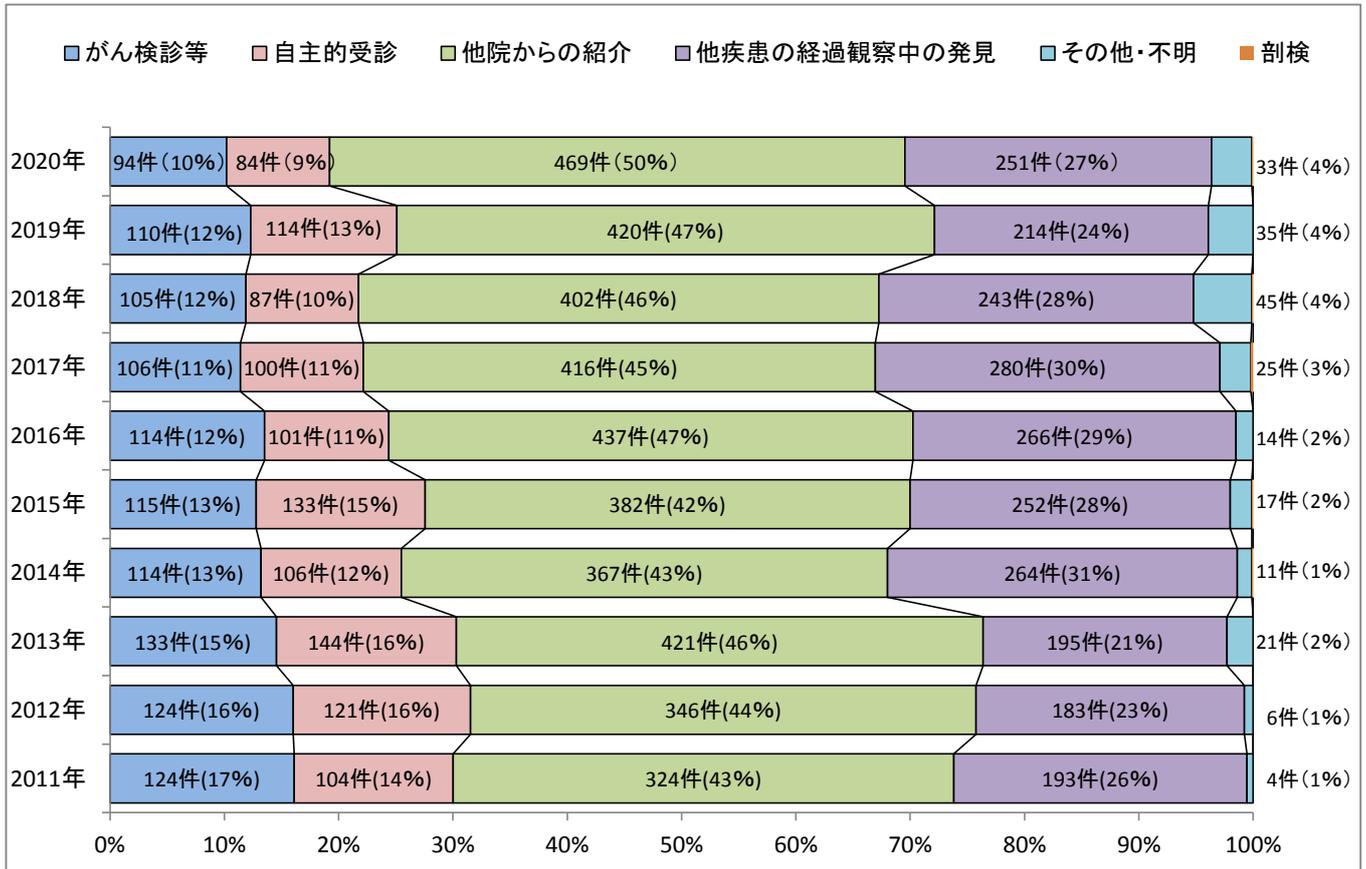
※集計値が0を除く10未満の場合、値を(-)ハイフンで表示しています

3) 来院・発見の経緯(2011～2020年診断症例)

※来院・発見の経緯とは、「がん」と診断されるに至った受診のきっかけや、経緯をまとめたものです。
 一院内がん登録(2011年～2020年診断症例) 来院・発見の経緯から見る。当院の傾向一

2011～2020年診断症例の中で「他院からの紹介」によって受診し、がんと診断された症例が最も多く(45%)
 次いで「他疾患の経過観察中」にがんと診断された症例が多く見られました(27%)。

2022年1月現在



初回治療の定義 初回治療とは、当院・他院を問わず「がん」と診断されたから計画された一連の治療のことであり、がんに対する手術や化学療法、放射線治療等および経過観察という行為を初回治療とみなします。病状悪化等で後に行った手術や化学療法等は初回治療に含みません。

治療なしの定義 当院、他院を問わず「がん」と診断された患者さんが、初回治療を当院で実施しない場合や治療方針を決定していたが治療前に来院しなくなった、当院に治療目的で紹介されたが当院では治療を行わず他院へ紹介した場合を指します。

- 2015年診断症例までの「治療なし」の解釈：(診断のみ・治療前の来院中断・経過観察のみ・他院での初回治療終了後に紹介された場合)となります。
- 2016年診断症例のからの「治療なし」の解釈：(診断のみ・治療前の来院中断・他院での初回治療終了後に紹介された場合)となり、「経過観察のみ」は2016年診断症例から新しく治療の項目に含まれたため、治療なしの定義から外れることになります。

4) 5大がんのがん治療内容(2011～2020年診断症例)

※5大がんとは、胃がん・大腸がん・肝がん・肺がん・乳がんを示しています。

— 院内がん登録(2011～2020年診断症例)5大がんのがん治療内容から見る、当院の傾向 —

胃がん・大腸がんは、「外科的手術」や「内視鏡」による治療方法が多く見られました。肝がんは、「手術」や「RFA＝経皮的ラジオ波焼灼法」、「TA(C)E＝肝動脈(化学)塞栓療法」、肺がんにおいては、「薬物療法」、「経過観察」が多く見られ、乳がんは、「手術+薬物療法」、「手術+薬物療法+放射線」が多く見られました。全体的に「治療なし」も多く見られますが、上記に示した「治療なしの定義」、「経過観察」の解釈によるものです。

2011～2015年診断症例のがん治療項目

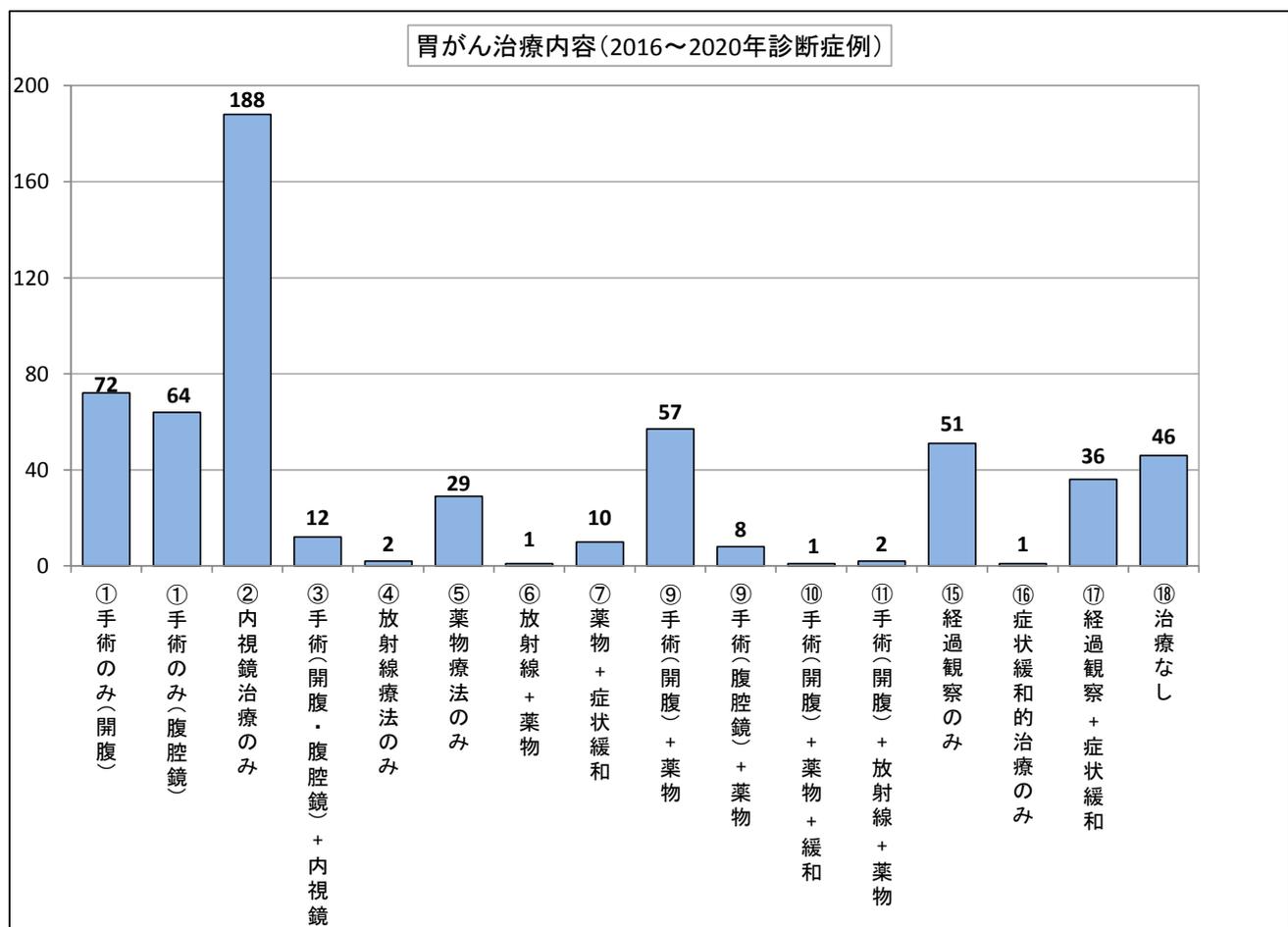
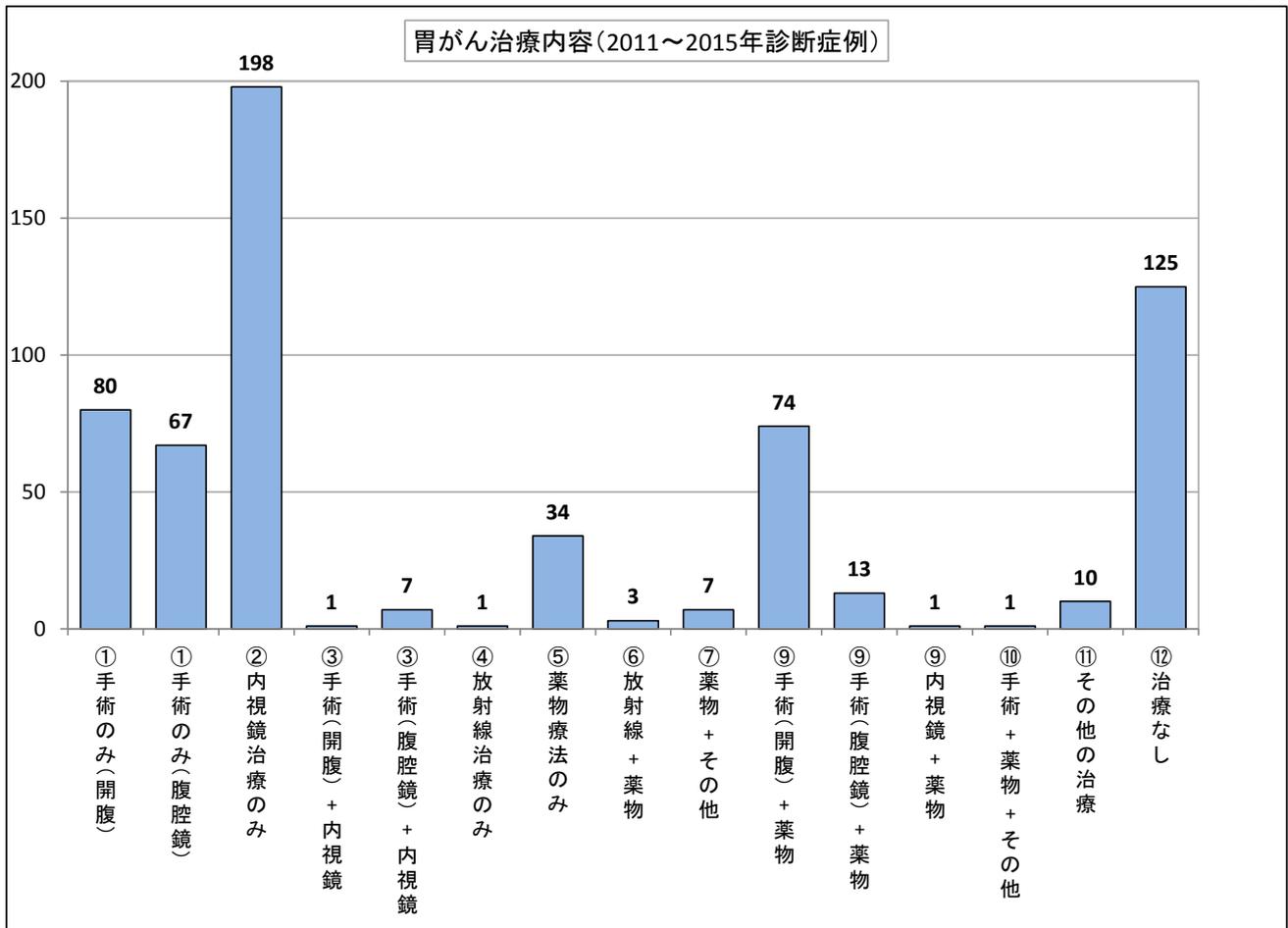
- | | |
|-----------|---|
| ① 手術のみ | ⑦ 薬物+その他の治療 |
| ② 内視鏡治療のみ | ⑧ 手術/内視鏡+放射線 |
| ③ 手術+内視鏡 | ⑨ 手術/内視鏡+薬物 |
| ④ 放射線治療のみ | ⑩ 手術/内視鏡+その他の治療 |
| ⑤ 薬物療法のみ | ⑪ その他の治療 |
| ⑥ 放射線+薬物 | ⑫ 治療なし(診断のみ・治療前の来院中断・経過観察のみ
他院での初回治療終了後に紹介された場合) |

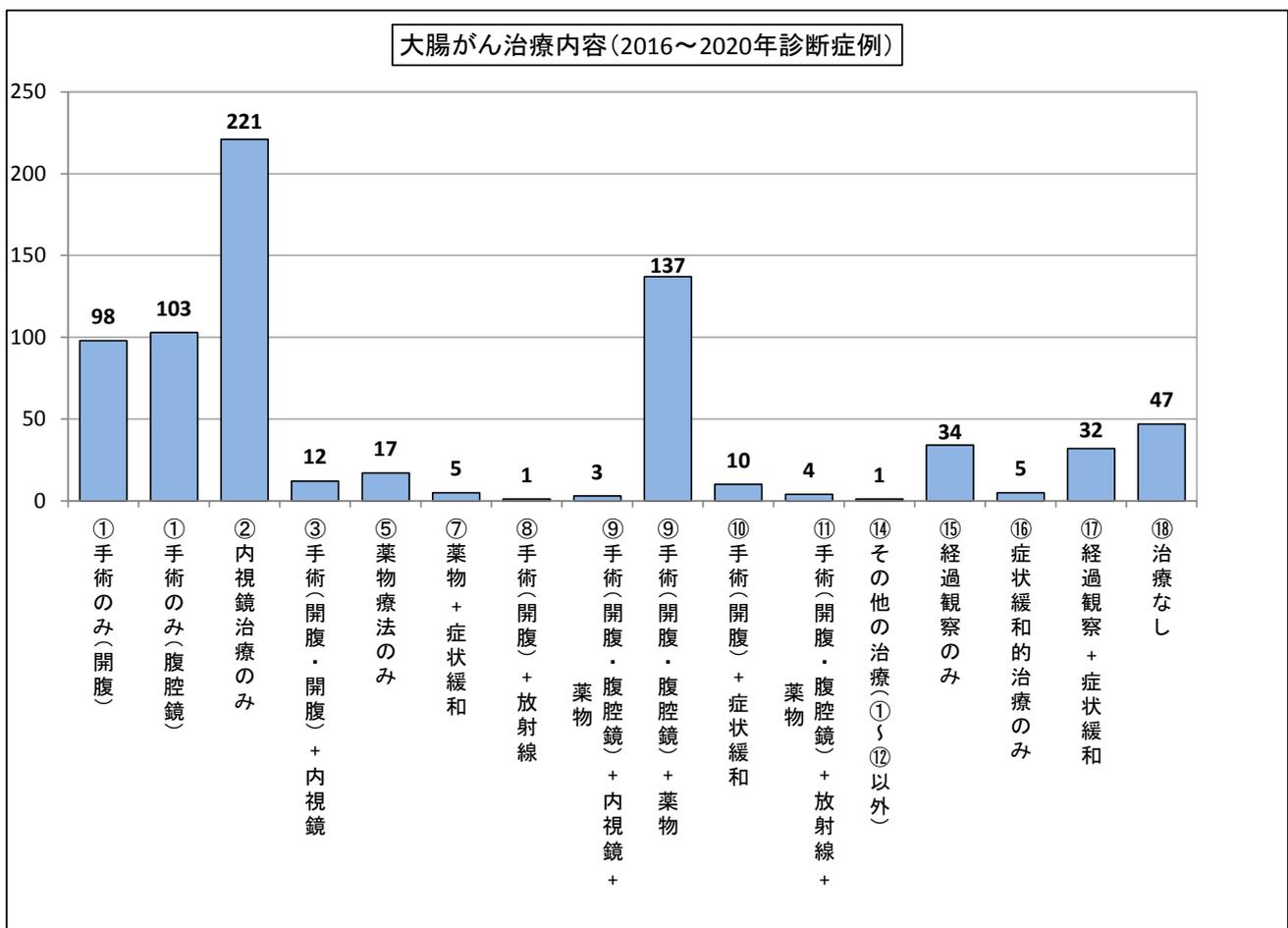
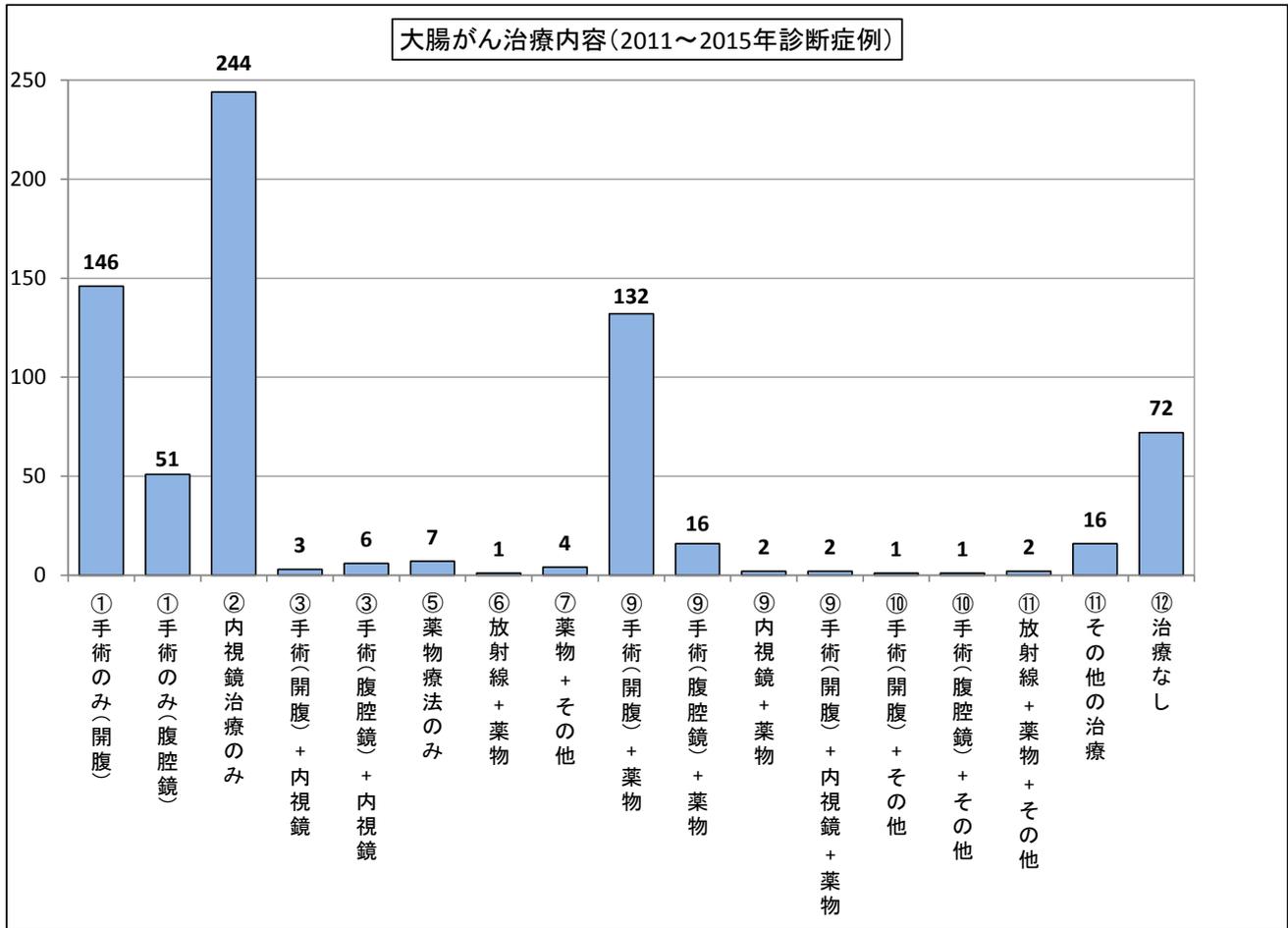
2016～2020年診断症例のがん治療項目

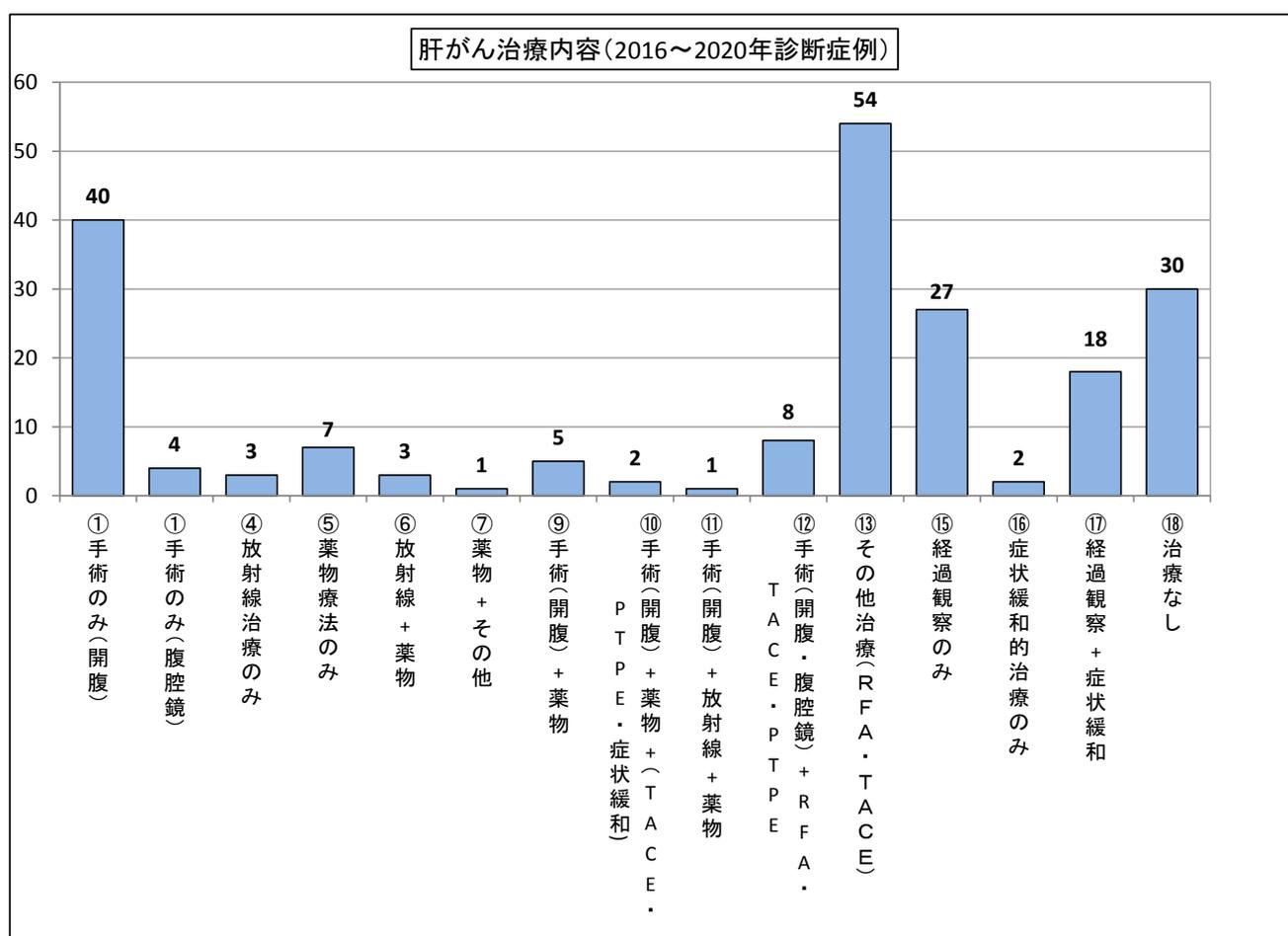
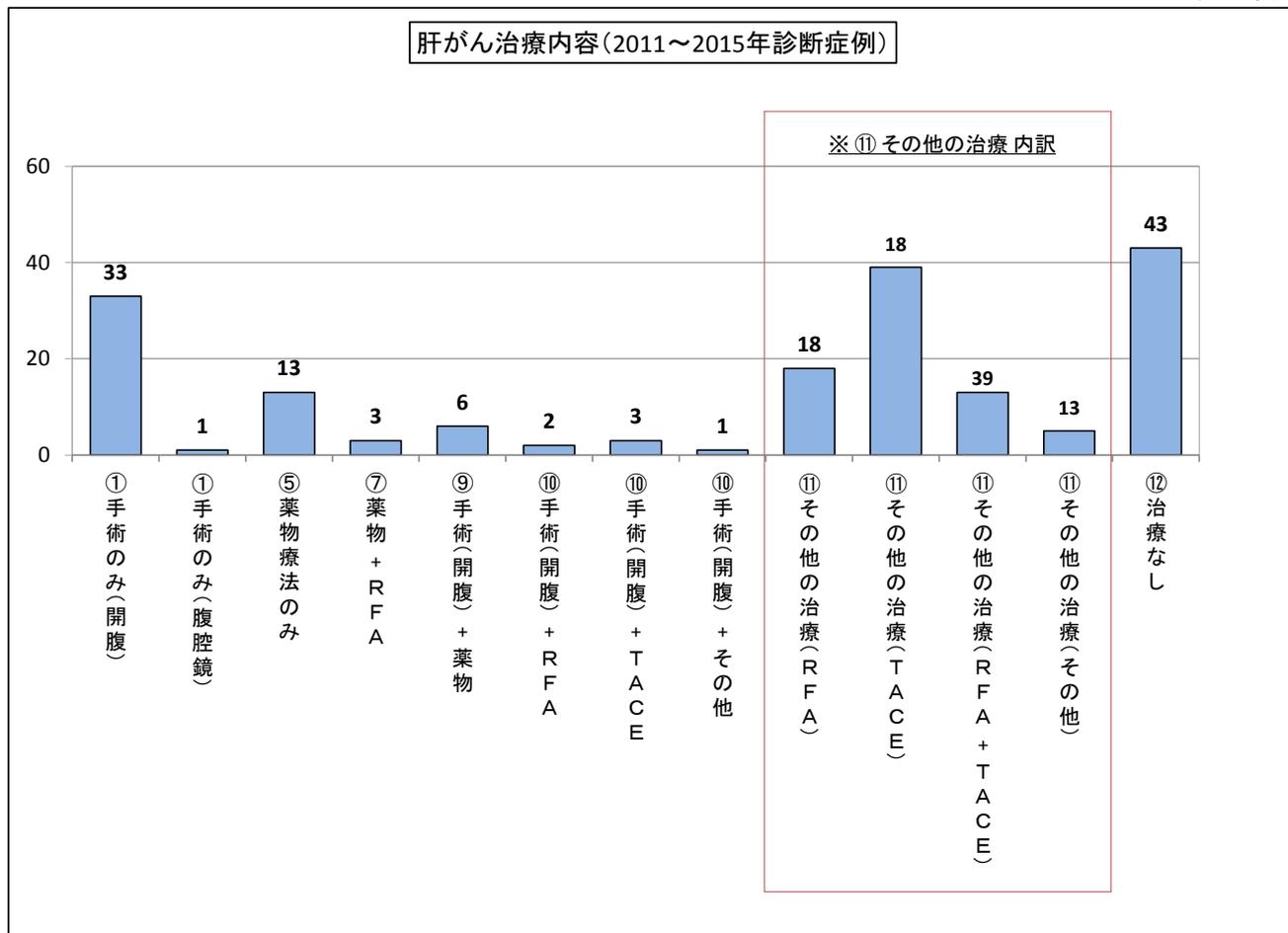
- | | |
|------------------|---|
| | ★解釈の変更に伴い追加となったがん治療項目(⑪～⑱) |
| ① 手術のみ | ⑪ 手術/内視鏡+放射線+薬物 |
| ② 内視鏡治療のみ | ⑫ 手術+その他の治療(RFA・TA(C)E・PTPE・TAI・PEIT) |
| ③ 手術+内視鏡 | ⑬ その他の治療(RFA・TA(C)E・PTPE・TAI・PEIT) |
| ④ 放射線治療のみ | ⑭ その他の治療(①～⑫以外の治療) |
| ⑤ 薬物療法のみ | ⑮ 経過観察のみ |
| ⑥ 放射線+薬物 | ⑯ 症状緩和的治療のみ |
| ⑦ 薬物+その他の治療 | ⑰ 経過観察+症状緩和 |
| ⑧ 手術/内視鏡+放射線 | ⑱ 治療なし(診断のみ・治療前の来院中断・
他院での初回治療終了後に紹介された場合) |
| ⑨ 手術/内視鏡+薬物 | |
| ⑩ 手術/内視鏡+他の組み合わせ | |

★ 2016年診断症例から、がん治療内容の項目が変更されたため、
2011～2015年診断症例、2016年～2020年診断症例を分けて表示しています。

2022年1月現在







※TACE : 肝動脈(化学)塞栓療法 RFA : 肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法 PTPE : 経皮的肝門脈塞栓術

